



議会だより

No.150
令和8年2月5日

松崎

「冬の雲見海岸」



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。



the most beautiful
villages
in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

《主な内容》

第4回定例会（12月22日～12月23日）

一般会計補正予算など	2
常任委員会視察研修・議員研修会	5
町政を問う 一般質問に6議員	6

令和7年第4回定例会

令和7年第4回定例会が12月22日から2日間にわたり開催されました。
 今回の定例会では、一般会計補正予算など17議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算

補正予算(第4号)は、歳入歳出に8133万4千円を増額して補正後の額を46億2401万2千円(1.8%増)とした。

《歳入の主なもの》

○増額分

- ・個人住民税、固定資産税の町税
- ・地方交付税(未計上分)
- ・前年度繰越金(確定額)
- ・防災対策事業債などの町債

○減額分

- ・財政調整基金繰入金
- 《歳出の主なもの》

○増額分

- ・カスハラ対策電話機購入
- ・自立支援給付費

- ・南伊豆地域清掃施設組合負担金(解散に伴う国庫補助金返還分)
- ・臨時交付金を活用した水道料金減免に係る水道事業会計補助金
- ・人事院勧告による給与改定や新規採用職員などによる人件費

○減額分

- ・地域おこし協力隊謝礼
- ・小中学校校務用端末購入
- ・GIGAスクール用小中学校情報機器購入
- ※戸籍情報システム改修事業、伏倉橋補修事業、入谷橋補修事業を令和8年度への繰越明許とした。

問 今年度の事業完了により、がん検診委託が減

額されているが、受診率はどのような状況か。また受診率を上げる取り組みは。がんは早期発見が大事であり、医療費の削減にもつながっていく。

答 健康福祉課長 胃がんは7.4%、肺がんは15.6%、大腸がんは15.2%などとなっている。昨年とほぼ同じ状況で、受診率向上のため特定健診と同時受診できるように対策している。

問 同報無線更新事業に係る財源に防災対策事業債をあて補正したことは良いことであるが、9月議会の補正予算の際には、このことは把握できなかったのか。

答 総務課長 詳細について詰めることができず、9月議会後、県に確認してからできた。

問 西伊豆町・松崎町中学校統合推進協議会の報

酬で各町で議員・PTA代表の2名分の予算がある。保護者の代表が1名というのはい少ないと思う。また、協議会は公開で行われるのか。

答 教育委員会事務局長 最初から多くの委員では動きが遅くなるため、最少とした。メンバーの増員が必要な時は柔軟に対応していきたい。協議内容の公開はまだ未定だが、広く伝えていきたい。

水道事業会計 補正予算

問 設計業務委託料の2400万円の減額は、直営で対応ということだが、職員が行ったのか。

答 生活環境課長 2年間で送配水管工事を行う設計をする予定であったが、伏倉配水池近くは職員が設計した。

問 一般会計からの630万円の水道料減免の説

明があつたが、補正予算に対応している箇所は。

答 生活環境課長 3月の補正でも確認するが、収入なので補正する必要もないこともある。

温泉事業会計 補正予算

問 新規加入があるが、どのような内訳か。

答 生活環境課長 期間限定加入の更新1件と新規加入1件となる。



第4回定例会 議場の様子

**伊豆まつぎ荘
事業会計補正予算**

収益的収入及び支出予算において、事業収益は宿泊料や売店収益などの見込減により281万6千円減額し、事業費用はOTA※関連などの見込増により856万6千円の増額としたため、当年度純利益を1138万1千円減額して△1128万1千円とした。

※OTAとはインターネット上だけで取引を行う旅行会社のこと。(Online Travel Agent)

問 OTAにより宿泊客は多くなったが、広告宣伝費が増えている。自社サイトを使っての予約割合はどのくらいか。

答 企画観光課長 約2割ほどとなっている。

問 総支配人を外部の方から招いているが、改善はどのように進んでいるのか。

答 企画観光課長 単価設定においては、飲料など上げられるものは、上げていくことや自社サイトへ導くようなホームページの改修などを考えている。

問 流動資産が約10%減ってきているが、運転資金は大丈夫なのか。

答 企画観光課長 運転資金のマイナスはいいことではない。本来やるべき修繕を見送っており、他会計からの借入れも検討している。

**特別職の職員
給料改正条例**

問 人事院勧告や近隣自治体と比べ低いことにより改正するが、町内事業所は小規模事業所が多く、賃上げが進んでいるように思えない。内部協議ではどのような意見が出たか。

答 総務課長 町内の経

済状況にも意見があったが、数年間改正もなく、人勤、近隣の状況などにより判断に至った。

問 課長職と教育長との差額の解消も理由にあったが、今までどれぐらい差があったのか。

答 総務課長 年額で約20万円の差があった。

**一般職の職員
給料改正条例**

問 高卒・短大卒の初任給は近隣自治体と比べて低い号級で始まっている状況である。この改正は検討しないのか。

答 総務課長 町は国の定める基準で初任給を始めている。高くするには理由が必要となってくる。

**指定管理者の指定
(道の駅)**

問 契約期間1年間だが、令和9年4月からの新しい指定に向けてのス

ケジュールは。

答 企画観光課長 昨年度の町有施設管理の調査に基づき、地域の意見を聴いている。大沢では1回開催しており、早い時期に方向性を示したい。

問 ワークショップを開催しているが、興味があるので参加することはできるのか。

答 企画観光課長 今後、5年・10年先の方針などを話している。岩科は少人数で開催し、大沢は地元の高い思いで動いたところもあり、今後検討していきたい。

**指定管理者の指定
(旧依田邸)**

問 依田之庄が1月から週休2日になるとのことだが、有償ボランティアの方への連絡や令和8年度から検討する事業計画との関連はどうなるのか。

答 企画観光課長 有償ボランティアの方には公社からの説明がされていなかった。利用客は増えているが、光熱水費がかかるため、利用の少ない日を休みとしていく。

**第3回臨時会
物品売買契約**

問 小中学校教職員のパソコンが新しくなり、快適に使えるようになるが、新たな追加装備などはあるか。

答 教育委員会事務局 追加装備を組み込むことではないが、グループワークスペースなどを校内で活用しているの



第3回臨時会・第4回定例会の概要・賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	小林克己	深澤守	高柳孝博	藤井要	議決状況
第3回臨時会 10/22	議案第82号	令和7年度松崎町立小中学校 校務端末更改に係る物品売買契約について 小中学校教職員の利用している、導入から5年以上経過しているパソコンを更改する 売買契約（契約先：東栄商工㈱、契約金額880万円）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（斎藤公志郎氏：道部区）	○	○	○	○	○	○	○	適任答申
第4回定例会 12/22 12/23	議案第83号	松崎町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告による職員の期末勤勉手当の支給月数の引き上げに合わせて特別職の特別給（期末手当）の支給月数を0.05月引き上げ、4.3月とするもの。 副町長の給料の月額を49万5千円から52万円に、教育長の給料の月額を43万7千円から46万7千円に増額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第84号	松崎町副町長の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例について 副町長の給料の月額を49万5千円から52万円に増額したことに伴い、条例にて規定する給料の月額を同額増額し、53万5千円から56万円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第85号	松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 令和7年人事院勧告において国家公務員の給与等の改正について勧告されたことから、町職員の給与等についても同様に改正するもの。 ①給与表の改定（4月に遡及し、初任給及び俸給月額を引上げ（平均3.3%）の引上げ） ②特別給の引上げ（民間の支給割合に合わせ、支給月数を0.05月引き上げる）③通勤手当の改正④宿直手当の改正 等級別基準職務表に「介護支援専門員」及び「主任介護支援専門員」を新たに追加するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第86号	南伊豆地域清掃施設組合理約の一部を変更する規約について 南伊豆地域清掃施設組合の解散後の事務の承継の条を追加するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第87号	南伊豆地域清掃施設組合の解散について 令和8年3月31日をもって、南伊豆地域清掃施設組合の解散を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第88号	南伊豆地域清掃施設組合の解散に伴う財産処分について 解散に伴いパソコン備品など財産処分を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第89号	令和7年度松崎町一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第90号	令和7年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出に46万5千円を追加して補正後の額を9億4,184万3千円とするもの。 歳出は、保険給付費、人事院勧告に伴う人件費を増額とした。 歳入では、人件費として一般会計繰入金を増額とした。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第91号	令和7年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出に126万6千円を増額して補正後の額を10億3,238万8千円とするもの。 歳出では、人事院勧告に伴う人件費、総務費、地域支援事業費を増額、予備費を減額とした。歳入では国庫支出金、繰入金を増額した。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第92号	令和7年度松崎町水道事業会計補正予算（第1号）について 収益的収入及び支出予算において、事業収益を給水収益の収入見込み減により2億696万3千円とし、事業費用を人事院勧告に伴う職員給与費の増などにより1億6,663万7千円とした。当年度純利益は3,754万4千円とした。 資本的収入及び支出予算において、収入予算を他会計借入金の減などにより6,744万9千円とし、支出予算を建設改良費の減により1億2,547万3千円とした。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第93号	令和7年度松崎町温泉事業会計補正予算（第1号）について 収益的収入及び支出予算において、事業収益を他会計貸付金利息の増などにより6,106万円とし、事業費用を人事院勧告に伴う職員給与費の増などにより4,396万5千円とした。これにより、当年度純利益は1,535万円とした。 資本的収入及び支出予算において、収入予算を加入金の増により789万4千円とし、支出予算を他会計貸付金の減などにより5,066万円とした。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第94号	令和7年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第95号	公の施設の指定管理者の指定について（道の駅） 道の駅の三聖苑伊豆松崎の指定管理者に、一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日 年間指定管理料見込額：3,400万円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第96号	公の施設の指定管理者の指定について（旧依田邸） 旧依田邸の指定管理者に、一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日 年間指定管理料見込額：2,180万円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第97号	令和6年度 道路メンテナンス事業 伏倉橋橋梁補修工事変更請負契約について 出来高を精査し予算内で変更契約をするもの。（契約先：㈱玉組、変更後契約金額6,142万4千円）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第98号	字の区域の変更について 土地改良法による県営中山間地域総合整備事業鮎川地区の施行により、大字南郷字上鮎川・字下鮎川の字の区域の変更をするもの	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
意見書案第3号	水道施設の耐震化等の整備に対する財政支援を求める意見書の提出について 国の水道事業への支援は「公営企業・独立採算」を理由に部分的な支援に留まっている。水道はライフラインであり、水道水の提供は住民の命と地域を守る人権そのものであるため、水道施設の耐震化等の整備に対する財政支援について国の関係機関へ意見書提出するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

賛成：○ 反対：× 欠席：-

総務常任委員会 視察研修

10月7日から2日間、
当町における課題対応の
参考とするため、長野県
原村と茅野市、御殿場市
内にある施設を視察した。

長野県原村

はらむら

当町と同じく美しい村
連合に加入し、なまこ壁
の蔵や鍍絵が数多くあ
り、移住定住も盛んであ
る原村の視察を行った。

原村は鍍絵が数多く現
存する。また、鍍絵その
ものだけでなく、作品集
冊子の制作や3Dスキャ
ン・プリントなどの技術
を用いて、後世に遺す取
り組みをしている。

ただ、鍍絵の所有者は
個人であるケースも多く、
保存許可の関係など課題
もまだいくつか残ってい
る状態だという。
また移住定住について
は、県による造成事業も

あり、移住定住が活発な
状態であるが、周辺の諏
訪や八ヶ岳などの地域と
も協力して対応している
とのことだった。



▲原村「まての蔵」

長野県茅野市

ちのし

茅野市ではAI乗合オ
ンデマンド交通「のらざ
あ」やデジタル田園健康
特区の視察を行った。

「のらざあ」は、路線
バスに替わる新たな移動
サービスで、市内各地に
ある約8千もの目に見え
ない仮想停留所を結ぶ、

タクシーのように利用で
きるサービスで、乗車場
所や時間をスマホなどで
予約する。現在利用者は
続々と増加しており、令
和4年8月より本格運用
を開始し、令和6年度は
5万9378件の利用があ
った。

デジタル田園健康特区
については、オンライン
診療や「のらざあ」を活
用した通院や薬の自宅配
送などが進められている
が、費用についての課題
などがあり、難航してい
るとの話もあった。



▲茅野市「のらざあ」車両

御殿場市一般廃棄物 処理事業協同組合 「ゆめかまど」

可燃ゴミの削減取組を
している、生ごみ堆肥化
処理施設「ゆめかまど」
の視察を行った。

同市内では一部地域で
生ごみ専用のバケツを設
置し回収を行っている。
回収された生ごみは、脱
水や有害物質を除去し、
無料の堆肥として配布し
ている。

持ち込まれた生ごみは
粉碎した後、菌床へ投入。
攪拌し、発酵させる。そ
の際に大量の水やアンモ
ニアが放出されるが、専
用の対策設備が導入され
ているため、臭気はほと
んど漏れていなかった。



▲御殿場市「ゆめかまど」

賀茂地区市町 議会議員研修会



▲鍵屋一氏の講演の様子

10月10日、東伊豆町役
場にて、跡見学園女子大
学教授の鍵屋一氏による、
伊豆半島の防災について
の講演を聴講した。

講演では能登や熊本な
どの震災の例から災害の
対策や考え方について学
んだ。また近年降水量の
増加に伴う浸水などほか
の災害についても話が
あった。防災という幅広
い内容であったが、いず
れも共通して、地域コ
ミュニティの協力が肝心
であると強調された。

問 町内経済の立て直し策は

答 経済の域内循環を構築



藤井 要 議員



動画

問 町政二期目を迎える中で、町内の経済はますます縮小傾向が続いている。ホテル・旅館、飲食店・本屋など事業を閉じる店舗が目立つ状況である。こうした地域経済の衰退に対し、町として取り組むべき政策は何か。

答 (町長) 観光分野では、体験型観光の推進に取り組んでいる。商工業では商工会や金融機関と連携し、空

き店舗の活用、起業支援体制の整備を、移住定住に向けては二拠点居住の受け皿に力を入れていく。

問 町の産業は観光と言っても過言ではない。町の自然を生かした宝蔵院や烏帽子山の散策、町内の空き店舗などを活用し、町民の絵画や書道作品を展示し、歴史と文化、町の芸術を生かした取り組みを大々的にすべきで

はないか。
答 (町長) 町全体が美術館という考えにより商店街で子どもたちの絵を飾っている。また、振興公社で商店の看板を漆喰で制作する事業にも取り組んでおり、商工会や関係機関とともに街の魅力を発信していく。



▲なまこ壁通りの石畳

問 石畳は町の歴史文化

答 風情など考慮し対策

問 魅力ある街並みの一つである「なまこ壁通り」の石畳の修理を町にお願いし二年が経過したが、いまだ修繕がされていない。観光客からも「石の周りが欠け、でこぼこで歩きにくい」と言っている。

答 (町長)

歩道周辺は、地元の方が花などを植え、さまざまに形で管理している。歩きにくいとの意見も承知しているが、補修もしているので風情なども考慮し今後も対応していく。

問 まちづくりは「人づくり」といわれる。職員の働き方改革に取り組み、住民サービス向上を目指すとしているが具体的内容はどのようなものか。

答 (副町長)

昨年から議論を始め、

職員の意見を何度も聞きながらここまで進めてきた。住民サービスの向上については、打ち合わせ時間を確保することで業務準備が効率化また、電子化により稟議書決裁時間が短縮され、より早く報告ができるなどが考えられる。

問 災害後に向けた対策を

答 近隣自治体との活用も

問 地震や竜巻・豪雨災害後の早期復興に向けての対策で、使用頻度の低い旧校舎や危険な建物を解体し避難住宅用地、瓦礫の仮置き場を確保し、被災住民が安心して生活でき、関連死などが起こらない環境を整備するべきではないか。

答 (町長)

遊休施設は積年の課題である。取り壊しにも、その後の管理にも経費がかかるために民間活力も含めて活用を検討する。

オンライン化率0%の改善は

答 承知しているが、進んでいない



小林 克己 議員



動画

自治体の行政手続き

全国1160自治体

握していない。

組みがあるが、住民サー

答 (副町長)

電子申請の作業の取り組みが進まないのは、重々承知している。毎年の課題であり、本当に申し訳なく思う。

開庁時間短縮で一概にどの程度時間確保するかは難しいと思うが、職員は気持ちを前向きにして、新しいことに取り組んでいくという姿勢が大事である。

問 子育て関係に必要な

方々はデジタルに慣れており、介護関係が必要な方々は慣れていないと思う。そこで子育て関係の電子申請を先に進めてはどうか。

答 (副町長)

若い世代はアプリやスマートフォンに慣れていると思う。子育ての関係でアプリ導入し母子保健関係は別に積極的に進めているところもある。

問 デジタル専門人材

遣は3年間の範囲内であ

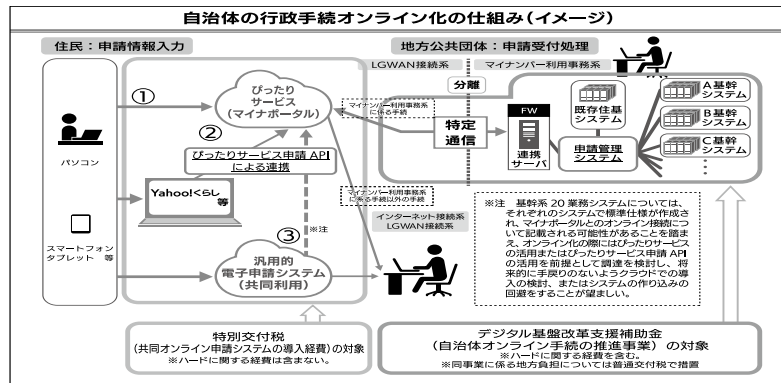
れば延長が可能である。延長の考えはあるか。

答 (副町長)

派遣元の会社と話を進めているので、ここでは回答できない。

問 自治体と企業に所属

する社員(副業型R6) または所属していた個人(シニア型R7)が契約を締結できるようになった。このような地域



▲総務省HP：自治体の行政手続のオンライン化参照

活性化を図る取り組みには特別交付税措置がある。個人と契約を締結する考えはあるか。

答 (副町長)

外部人材起用の課題が見えてきた。丁寧に考えたい。

問 業務に支障が出ない

ように人員を確保されたいとの監査報告がある。短時間正社員制度(週休3日8割、週休4日6割出勤)を活用してはどうか。

答 (総務課長)

今のところ、その制度は考えていない。

問 管理地に不法投棄か

答 事実である

問 10月末に企画観光課の管理地に不法投棄があったと町民より報告があった。事実か。

答 (企画観光課長)

事実である。当事者に連絡をとり、撤去させた。

問 財政計画ができない理由は

答 必要性は認識している



高橋良延 議員



動画

なければならぬが、それが役場の開庁時間を短くすることだろうか。まずは、事務事業を見直すことで業務量を減らすことはできないか、仕事のやり方をもっと効率的にできないのかを、組織として考えるべきではないのか。

答 (町長)

役場開庁時間の短縮は、事務の集中処理による効率化、生産性の向上、時間外の業務を抑制するために取り組む。職員が働きやすい環境を整える。

問 町民のくらし支援を

答 スピード感をもって

問 国の重点支援地方交付金が一部の対象者ではなく、広く町民に行き渡る公平性を求めたい。その上で、本年4月からの水道料金44%の値上げは大きな影響があったと思うが、住民および事業者の負担を軽減するために、交付金を活用した支援策への考えは。

答 (町長)

今年度、追加決定の交付金を水道の基本料金の一部免除にあてるため、12月補正予算に計上した。しかし、約600万円と少額であり、免除額が2か月の基本料金も満たさない額なので、さらに今後の交付金を充てていくのも一つの方法と考えている。

問 従来のプレミアム商品券ではなく、公平感を

出すために、一人当たりのプレミアム分に当たる金額を、くらし応援券、生活応援券として各家庭に配布できないか。

答 (町長)

そういうやり方もあると思うが、生活者と事業者を支援する国の交付金のため、やり方については、いろいろな形があるので、今後詰めていく。

問 奨学金の返還支援は

答 詳細はできていない

問 松崎町へのUターンインターンで定住し就職した方の奨学金返還を支援することはできないか。

答 (町長)

大学や専門学校などで学び、その後の就職先を考える際に、松崎町に定住する有効な選択肢になるが、現時点で詳細について詰められていない。

問 議会において、町長はとかく町にはお金がないと言っているが、言葉でなく数字で根拠を示すべきである。令和6年度末に策定すると回答した財政計画がなぜできていないのか。

答 (町長)

現在、財政計画は策定していないが、今後、火葬場など大規模な事業が予定され、必要性は認識している。

答 (町長)

現時点で約4億円の財源不足となっているが、今後査定を行っていく。財政健全化に向けて、国県の補助や有利な起債を最大限活用していく。

問 職員の確保が十分でない中、業務負担を考



▲火葬場建設地 (西伊豆町)



(イメージ図)

地域おこし協力隊とは

都市住民が地方へ移住し、地域活動で活性化を支援しながら、任期後の定住を目指す総務省の制度。

国（総務省）から町に対して財政措置（特別交付税）が行われる。



菜野良枝議員



動画

答 棚田の保全に1名

問 地域おこし協力隊の現状は

問 今年度は8名分の予算措置をしているが、これまで募集を行わなかった理由は。

答 (町長)

募集が行われなかったことは率直に反省すべきところ。受け入れ態勢や具体的な業務内容の整理などに時間を要した。現在、募集を開始し、採用時期は2月から目指している。業務は棚田保全3名、まちづくり1名、移住定住1名、ふるさと納税1名。

問 このままでは予算の多くが執行されないが、予算に甘さはなかったか。

答 (町長)

甘さがあったとは考えていないが、募集できなかったことは、事業の遂行管理や体制面に課題があったかもしれない。執行できなかつた分は、補正予算において減額した。

問 町が求める人材と応

募者のマッチングがうまくいく方法の模索は。

答 (町長)

来年度は有料のマッチングサイトの活用や募集事務の委託事業も検討。

問 地域おこし協力隊員が卒業後、起業する費用の一部補助は町に定住する助けになっているか。

答 (町長)

補助金を活用し起業に挑戦して町に関わり続けている事例もあり、一定の成果はあると考える。

問 不登校の傾向は

答 ふいに休みがちになる

問 不登校の原因をみつけるための取り組みは。

答 (教育長)

担任や養護教諭を軸に児童・生徒、保護者とも面談をおこなない、状況の把握に努めている。ケースによっては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも交

えて対応している。

問 「しずおかバーチャルスクール」の学習が出席扱いになるかどうかの判断は。

答 (教育長)

本人の意欲向上につながる可能性があり、出席として扱えるようにしたい思いはある。

問 ハザードマップは

答 第5次想定発表後に

問 県の高潮浸水想定区域の指定によって、現在、改定中の地域防災計画への影響はあるか。

答 (町長)

高潮に関する記述を必要に応じて修正している。

問 高潮浸水想定区域の指定について広報の考えはあるか。

答 (総務課長)

県とも相談しながらどんな形で周知していくかを考え対応していきたい。

問 危険な空き家対策は

答 県に要望し、進める方針



藤井昭一 議員



動画



(危険な空き家イメージ図)

雲見地区には壁などが崩落している
空き家が数軒ある。

問 雲見地区の崩落している元ホテルの問題が何も進展していないが、今後どう進めていくのか。

答 (産業建設課長)

この問題は令和4年から下田土木事務所に対応してきたが、これまで進展していない。そのため、12月12日に県庁に直接要望に行き、これまでの状況を説明した。県としても事態を重く受け止められた上で、関係法令に基づく措置を進めていくというお話を頂いた。早速、県の担当者が現地確認にきている。

問 問題解決に向けて、県の対応がどこまで進んでいるのか、町としても進捗状況を把握し、地域住民に対していつでも説明できるようにしておいてほしいがどうか。

答 (産業建設課長)

毎年度、県との打合せがあり、進捗状況を確認している。

問 回覧板の頻度は

答 これからも毎週で

問 5月の町政懇談会で

「毎週の回覧板は高齢の区長・班長に負担が大きい。賀茂郡の他市町は全て月2回なのに、なぜ松崎町だけが毎週なのか」という声があった。これを受け、町はどのような検討を行ったのか。

答 (総務課長)

区長会において話し合い、高齢者の安否確認の意味もあり、これまで通りという話になった。

問 要介護で独居の高齢者も多い。そういう人たちに実際に話を伺うと、「回覧板を回すのがとても大変だ」、「うちには回覧板は来ないよ。ポストに必要な書類だけ入れてある」など、もはや

安否確認にもなっていない状況であった。今後、更にこのような人たちが増えると思うが考える余

地はないか。

答 (総務課長)

多くの区長さんから今のままで大丈夫だという回答を頂いている。今のところ変更する予定はない。

問 公共交通の今後は

答 新交通を探る

問 自主運行バスは町の

経費が年間約3300万円かかっており、通学時間以外の日中はほとんど利用がなく、無駄が多いと感じるがどうか。

答 (町長)

町民・観光客の足として必要性を感じている。

問 高齢者でも利用しやすいAIオンデマンド乗合タクシーなどを導入することは検討できないか。

答 (企画観光課長)

公共交通会議等で今行っている自主運行バスの運行の仕方など、検討していきたい。

問 実施計画の進捗管理は

答 前年度の評価・分析で



高柳孝博 議員



動画

地方創生2・0の推進の中に町の施策に役立つものがあると考えますが、国や県の施策に早くエントリーしないと交付金をいただくチャンスを逃しかねない。国、県の施策を参考に考えるはあるか。

答 (町長)

情報の方向性を整え地方創生を目指していきたい。関係人口の創出、二地域居住とか県の伴走支援を受けながら進めている。情報を確実につかんで総合計画を進めたい。

答 (町長)

地方の自治体だけで考えるのではなくて外からのネットワークを使って現在、町では地域活性化企業人という民間の人材を活用している。民間活力を視野に入れながら、松崎町に合った施策を考えたい。

問 新たな産業振興策は

答 情報収集で

問 内閣府が出している

問 総合計画実施計画の策定に当たり、最終目標を達成するための重要管理指標の結果は、どのように進んでいるか。

答 (町長) 年度の事業実績、目標指標に係る評価を行い、向こう3か年度の取り組みを計画している。

答 (企画観光課長) 目標に対する結果は、数値目標34項目中数値に達したものが9件ある。

問 福祉の課題について

答 需要増大に対応で

問 ①2025年が団塊の世代が後期高齢者となり社会保障クライシス(危機)と言われている。

(危機)と言われている。介護者とヘルパーさんの状況は。

②認知症介護認定を受けている方は何%か。

③認知症対策をどう考えるか。

答 (町長)



(イメージ図)

①要介護の需要増加が見込まれ、介護者も高齢化が考えられる。隙間時間を利用した生活支援体制や、外国人の雇用などの検討も必要である。

②令和6年度の介護認定申請において、認知症が第一病名の認定者は26.5%である。

③対策は、認知症サポートー養成講座や認知症キャラバンメイトによる普及啓発など住民への理解を深めている。

次の定例会は、3月3日(火)からの予定です。

議会のらごき

10月

- 1日 広報編集委員会
- 2日 賀茂郡議長会議（松崎町）
空き家対策勉強会
- 7日～8日 総務常任委員会視察研修
（長野県他）
- 10日 賀茂地区市町議会議員研修会
（東伊豆町）
- 14日 広報編集委員会
- 17日 静岡県町村議会議長会定期総会
（静岡市）
- 22日 第3回臨時会
- 23日 議会だより第149号発行

11月

- 12日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 13日 賀茂郡議会議長会県外視察（東京都）

12月

- 8日 議会全員協議会
- 16日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 22日～23日 第4回定例会
- 24日 伊豆縦貫道期成同盟会県要望活動

表紙の写真「冬の雲見海岸」は文化協会写真部より提供。



この人に
聞きました④
松崎町チーム駅伝監督
土屋 武彦さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、駅伝の監督を務めている土屋武彦さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

私は駅伝が始まった当初から駅伝活動に参加し、20年以上監督として練習などに携わり続けています。選手は毎年6月頃から約5か月の間駅伝の練習をします。

○今後の活動や課題は。小学生から大人までがふれあいを持って活動し、走ることが好きになる人が増えていくといいなと思っています。ただ

近年は人が少なくなりメンバーを集めるのが大変です。特に高校生は、なかなか走れる方がいなくて、何度もお願ひして走ってもらったこともありました。これからは、普段から選手を育てる活動をし、選手確保をしていければと思っています。

○町への要望はありますか。現在山の中の古道を利用したツアーを計画しています。しかし古道の多くが倒木などにより消滅しかけています。古道は

富士山が綺麗に見える箇所もあり、かつての人々が生活していた証となる歴史的にも貴重な資料の一つでもあるため、全てとはいかなくても古道の整備に力を注ぐことを要望します。

（聞き手 編集委員長

発行責任者

議長 田中道源

編集委員長

高柳孝博

編集委員

藤井昭一
菜野良枝
高橋良延
小林克己
深澤守
藤井要

海鳴り

10月に危険空き家対策について県の職員より、建築基準法や空家等対策の推進に関する特別措置法で、取り組めることについてレクチャーを受けました。一朝一夕では解決できませんが、今後も松崎町の現状を踏まえ課題解決に取り組みでいきます。

また、令和8年度は松崎中学校3年生を対象に「こどもみらい議会」の開催に取り組む予定です。中学生の目線から町への質問、提案を議場にて一般質問の形式で行っていただきます。松崎の未来を生徒たち一人ひとりの力で創る可能性を感じ、郷土愛をより深めていただけたらと思います。一つひとつは小さな歩みかもしれませんが、諦めることなく積み重ね、松崎町のより良い将来につなげていく所存です。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

（議長）